

令和3年度町政・町教育行政執行方針

令和3年第1回町議会定例会が3月4日から18日まで開かれました。この定例会で関町長が令和3年度町政執行の基本方針を、照井教育長が令和3年度の教育に関する主要な方針を述べました。

また、町政執行方針に基づいた予算案を提出し、慎重審議の結果原案どおり可決されました。新年度のスタートにあたり、その概要をお知らせします。

令和3年度

町政執行方針

はじめに

私が、町政の舵取りを担わせていただいているから、3期目の3年次を迎える年となります。

これまで同様、町民の皆様との対話を大切にし、私の信条であります「目くばり・気くばり・思いやり」の3つの配慮を基本に、安定し持続性のある行政運営と明るく住みよいまちづくりを目指して、町政執行にあたる考えであります。

引き続き、第6次小平町総合計画、第2期総合戦略の政策を基本としながら、町民主体のまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

我が国経済について政府は、「新型コロナウイルス感染症の影響により、急速な景気の悪化を経験することになった。海外においても、感染者数の増加が続いている国も少なくないことから、景気の下振れリスクは依然として高い。したがって、感染症の拡大防止を図りつつ、働き手と働く場のマッチングを促進すること等によって、雇用を守りながら経済活動のレベルを引き上げることは引き続き重要課題である。」としております。

また「その際、わが国のみならず、世界各国において、感染症拡大の経験を踏まえた暮らし方や働き方の転換、『新たな日常』の構築が求められている。社会生活の基本的な動作や長年の慣行を見直すことは極めて稀な出来事だが、人々の安心と安全の確保と経済活動の拡大を両立させることが求められている。」との見方を示しております。

このように国内外が不安定な状況にある中においても、我々、地方自治体が果たす役割は、多様化する住民サービスを筆頭に、ますます重要となっており、住民にとって最も身近である基礎自治体の責任と判断力、そして地域力が問われることとなります。

行政の簡素・効率化を推進し、財政健全化を堅持していくとともに、直面する経済情勢や、起こりうる環境の変化にも的確かつ柔軟に対応できる体制づくりを進めていく必要があります。

令和3年度予算の編成にあたりましては、中・長期的な視点に立ち、国の予算執行との連動を勘案しつつ、住み良いまちの構築につながる予算編成に努めてまいりましたので、その主な概要を申し上げます。

初めに歳入であります。依然として厳しい地方経済の中、貴重な自主財源である町税においては、法人町民税、固定資産税等の減少が見込まれ、また、安定的な財政運営に必要な地方交付税については、地方財政計画により前年同額を見込む一方、交付税の振替措置である臨時財政対策債については、国の方針に基づき、若干の増額計上となっております。こうした中、町民生活の安心・安全の確保、地域経済の活性化を推進するため、基金を活用し、収支の均衡を図ったところであります。

歳出については、町民にとって最も身近な基礎自治体としての責任のもと、福祉の向上、地域交通の確保、住宅環境の整備・助成、産業の活性化を図る事業のほか、庁舎や学校など、公共施設の照明をLED化する経費などを計上し、令和3年度の一般会計予算は、前年度比0.4%増の38億273万1千円となっております。

また、5つの特別会計及び、水道事業会計を合わせた予算総額は、61億9千667万2千円となり、前年度比13.7%増となっております。

産業振興施策

●農業につきましては、一昨年度から実施している「農地耕作条件整備事業」により本年度は、7地区の排水路整備を実施してまいります。

また、本町の光ファイバー未整備地区が本年度中に整備される予定であるため、スマートフォン、タブレット等と連携した水田水管理、ハウス内環境管理システム等、農業者のニーズに応じた利活用について、関係機関と連携しスマート農業の推進に努めてまいります。

●畜産につきましては、小規模ながら良質な和牛産地として歴史を受け継いでいますが担い手不足・労働力不足の深刻化により、個別完結型の経営は限界にきており、重要な産業が消滅する危機にあります。

このため、繁殖雌牛の発情観察・人工授精・分娩などの繁殖管理を一元的集中管理し、AIやIoTなどを活用した最新の効率的な飼養管理技術により畜産農家の労力軽減と飼育頭数の拡大につながる生産体系の確立に向け、関係機関と協議を行ってまいります。

●林業につきましては、「森林環境護与税」を活用した「小平町私有林整備事業」の創設により森林整備経費の一部を助成し、森林保全、林業木材産業の持続的な発展を図ってまいります。

また、本年度から道営林道事業による「菊岡沖内線」開設事業（計画延長4.5km）に着手し、森林整備を計画的に推進し、森林の有する多面的機能の維持・増